

五戸病院での研修を終えて

令和二年 9 月 研修医
青森県立中央病院 研修医
横山和樹

こんにちは、青森県立中央病院研修医 2 年、横山和樹と申します。この度は有意義な研修の機会をいただき、誠にありがとうございました。私は幼少期から大学まで弘前に、現在は青森に住んでおり、南部地域で生活したことはなかったことや、将来外科志望なので、外科もある五戸病院で研修してみたいと思い、今回研修させていただきました。

普段の県病での研修では専門科に細分化されていますが、五戸病院では癌の手術、癌末期の緩和ケア、蜂窩織炎、褥瘡等々、疾患が多岐にわたり横断的な医療を体験でき、大変勉強になりました。外科としては、縫合、糸結びや腹腔鏡カメラなど、丁寧に教えていただいたのはもちろんのこと、胃婁交換の際の内視鏡操作、褥瘡処置など、とにかく色々経験をさせていただきました。特に患者さんへの病状説明や手術説明もさせていただき、大変貴重な体験でした。患者さん、家族が理解できるように伝えること、そして説明を聞いてどれくらい理解したかを考えながら IC することは時に難しかったです。

また、往診にも同行させていただきました。普段患者さんは自宅、施設でどういった生活をしているのか、身近で見ることができました。麻痺などの後遺症の残った患者さんが病院での急性期の治療後、どういった生活をしているのか、病院に来る姿だけでは見えない部分も実際に目にし、地域に密着した医療を経験することができました。

最後になりましたが、安藤先生、土屋先生はじめ、医療スタッフの皆様、一ヵ月、大変お世話になりました。初めての病院で緊張もありましたが、温かいご指導の下、大変楽しく研修をできました。再び青森県立中央病院に戻って研修を続けますが、今回五戸病院で経験、学習したことを生かして今後の日々の診療に励んでいきたいと思っております。